



東陽の旋風かぜ ～自律協働貢献～

令和6年5月10日（金）No 6 発行
文責：松本 卓也

自分たちが楽しむことで、地域の人も盛り上げていきたい

学校通信第1号でもお伝えしましたが、本校では、子どもたちが「自分が頑張ったから出来た！」と他者との関わりの中で実感できる自主的・実践的な活動をたくさん経験させていきたいと考えています。来週18日（土）に開催する小中合同運動会でも、実行委員会を中心に子どもたちを前面に出した取組を進めています。役員・種目決めに始まり、昨日の練習でも、準備運動や徒競走の入退場、ダンスの練習も、すべて実行委員が指示を行いました。昨日、4人の実行委員の皆さんとランチミーティングを行い、合同運動会にかける思いを聞きました。



【合同運動会での目標は何ですか？】

「自分たちが楽しむことで、地域の人も盛り上げていきたいです。（実行委員長）」

「実行委員長のサポートを頑張りたいです。（副委員長）」

「背中を見せて笑顔で盛り上げます。絶対、白団に勝ちます！（紅団団長）」

「団関係なく、みんなが楽しめる運動会にします。紅団には負けません！（白団団長）」

【現状はどうですか？】

「3年生は楽しんでいますが、1・2年生がまだまだです。（実行委員長）」

「団練習のときに、やる気のなさを出されるときがあるので悲しいです。（副委員長）」

「40～50点です。まだ、声を出していない人がいます。（紅団団長）」

「80点です。注意したらすぐ行動を直してくれます。あとは声です。（白団団長）」

【これからの意気込みを教えてください。】

「とにかく楽しむぞ～！（実行委員長）」

「教室の元気を運動会でも見せましょう！（副委員長）」

「元気いっぱいの人がたくさんいるので、一生懸命がんばりましょう！（紅団団長）」

「勝ちます！（白団団長）」

「人前にでることが苦手です。」と語っていた白団団長のMさんを含め、4名の皆さんのリーダーとしての自覚、やる気を感じて嬉しくなりました。目一杯、自分から楽しんで、今年も、周りの人を笑顔にする運動会にしてください！保護者の皆さま、お子様の成長した姿を当日はぜひご覧ください。



今の心のありようを立体的に描き出す

7日（火）、「総合質問紙調査（i-check）」を実施しました。昨年の結果から、「社会参画」や「学習習慣・意欲」では肯定的な回答が多かった一方、「生活習慣」に2年生が課題があることがわかりました。課題克服に向け、遅い就寝時間の原因となっている情報通信機器の正しい使い方について、ご家庭や生徒会と連携しながら、toyoいきいきウイークの取組をさらに充実させていきたいと考えています。この機会に、ぜひご家庭で話し合ってください。ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。



令和6年も共育を目指して

2日（木）、授業参観、PTA総会、学年・学級懇談会を開催しました。学校運営協議会員の皆様にも参観いただき、「先生が一方的に進めるのではなく、自分たちで意見を聞いたり、自主的に発表したりしている。」等、嬉しい感想をいただきました。懇談会では、子どもたちの様子や行事の説明に加え、昨年度作成した「育ちの架け橋」をもとに、ご家庭での見守りやアドバイスをお願いしました。ご家庭と学校が同じ方向を向いて、「共に子どもを育てていく」視点を大事に教育活動を進めてまいります。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）